

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、その発生と移動の背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本海側の対馬海流が強い寒気で冷やされることで氷が発生し、北西の季節風によって北海道の北部に押し寄せられる。 | 2. 北極海から流れ出した巨大な氷の塊が、親潮（千島海流）に乗って南下し、北海道の太平洋側に接岸する。 | 3. シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。 | 4. アラスカ沿岸で発達した流氷が、偏西風の影響を受けて東から西へと移動し、北海道の知床半島周辺に漂着する。 |
|---|---|--|--|
- 問2 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている | 2. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている | 3. 一戸あたりの作業範囲が広いいため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている | 4. 農家一戸あたりの土地が狭すぎるため、複数の農家が共同で土地を管理している |
|--|--|---|---|
- 問3 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 客土 | 2. 開拓 | 3. 輪作 | 4. 干拓 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 札幌市の中心部に見られる、道路が垂直と水平に規則正しく交差するように設計され、住宅地や商業地が正方形に近い区画で整理されている街路の形態を何と呼びますか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 格子状の街路 | 2. 不規則な街路 | 3. 同心円状の街路 | 4. 放射状の街路 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
- 問5 北海道のオホーツク海沿岸に押し寄せる流氷に関する説明として、漁業への影響という観点から最も適切な記述はどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. 氷に含まれる植物プランクトンなどの栄養分が解け出し、海を豊かにする | 2. 寒流である親潮の流れを強め、サケやマスの回遊を妨げる | 3. 海面を覆うことで水温の低下を防ぎ、魚の活動を活発にする | 4. 氷が海底を削ることで、コンブなどの海藻類が育ちやすい環境を作る |
|--------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
- 問6 冬の北海道において、北東部の海域が白い氷で覆い尽くされる「流氷」が見られる海域の名前と、その氷が形成される場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|---------------------|------------------|--------------------|
| 1. 日本海 — サハリン沿岸 | 2. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸 | 3. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸 | 4. オホーツク海 — シベリア沿岸 |
|-----------------|---------------------|------------------|--------------------|
- 問7 日本の都道府県別の統計において、北海道の耕地面積は全国の約25%という広大な面積を占めていますが、農業産出額の全国シェアは約13.5%となっています。この数値の比較から読み取れる、北海道の農業の特徴として適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|---|
| 1. 耕地面積と農業産出額のどちらも、全国の約半分以上を占める圧倒的な規模である | 2. 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている | 3. 耕地面積の割合よりも、農業産出額の全国シェアの方が高くなっている | 4. 耕地面積は非常に広いが、農業産出額の合計は全国の都道府県の中で最も低い水準にある |
|--|--|-------------------------------------|---|
- 問8 北海道の北東部に位置し、冬になるとシベリア沿岸から流れてきた「流氷」が網走や紋別、知床半島の沿岸に押し寄せることで知られる海域の名称を選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|-----------|
| 1. 太平洋 | 2. 東シナ海 | 3. 日本海 | 4. オホーツク海 |
|--------|---------|--------|-----------|
- 問9 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|--|
| 1. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。 | 2. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。 | 3. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。 | 4. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。 |
|-------------------------------------|--|---|--|
- 問10 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。 | 2. 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。 | 3. 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。 | 4. 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。 |
|--|--|---|---------------------------------------|
- 問11 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------|-----------------------|---------------------|
| 1. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業 | 2. 商業やサービス業を主体とする第三次産業 | 3. 製造業や建設業を主体とする第二次産業 | 4. 農林水産業を主体とする第一次産業 |
|-------------------------|------------------------|-----------------------|---------------------|
- 問12 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。 | 2. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。 | 3. 地吹雪による視界不良を防ぐために、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。 | 4. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。	流氷の形成には、シベリア大陸から吹き付ける非常に冷たい空気が不可欠です。この寒気によってオホーツク海の塩分濃度が低い表面層が凍り、それが北西の季節風や海流によって南へ運ばれることで、北海道の北東沿岸にたどり着くという仕組みになっています。
問2	答え 3 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている	農家数に対して耕地面積が広大であるということは、農家一戸が管理しなければならない面積が非常に大きいことを意味します。人の手による作業だけではこの広大な土地をカバーできないため、大型機械を活用した大規模経営を行うことで、一戸あたりの生産性を高める工夫がなされています。これが、北海道が日本最大の食料供給基地と呼ばれる理由の一つです。
問3	答え 1 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にすること、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。
問4	答え 1 格子状の街路	明治時代に設置された開拓使による都市計画において、札幌市の中心部には京都の街並みや北米の都市を参考にした道路網が築かれました。このように直角に交わる道路で構成された街路は、土地の管理を容易にし、計画的な都市開発を進める上での大きな特徴となっています。
問5	答え 1 氷に含まれる植物プランクトンなどの栄養分が解け出し、海を豊かにする	流氷は、シベリアのアムール川などから流れてきた淡水が凍る過程で形成され、その中には大量の植物プランクトンや鉄分などの栄養分が含まれている。春になり流氷が解けると、これらの栄養分が一気に海中に放出され、食物連鎖の底辺を支えるプランクトンが大発生することで、豊かな漁場が形成される。
問6	答え 4 オホーツク海 — シベリア沿岸	流氷は、冬にシベリア沿岸で凍った海水が、季節風や海流の影響で成長しながらオホーツク海を南下することで発生します。北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸は、世界的に見ても流氷が到達する緯度が非常に低い地域として知られており、冬特有の自然現象となっています。
問7	答え 2 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている	北海道の耕地面積は約1,147千haであり、全国の約4,496千haに対して約4分の1（25%）を占めています。一方で、農業産出額は約1,185十億円であり、全国の約8,798十億円に対して占める割合（シェア）は約13.5%にとどまります。このことから、北海道の農業は一戸あたりの経営規模が非常に大きいものの、単位面積あたりの収益性が高い施設園芸農業（ビニールハウス栽培）などが盛んな都市近郊の地域などと比べると、面積シェアに対する産出額シェアは低くなる傾向にあります。
問8	答え 4 オホーツク海	北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。
問9	答え 1 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わせられているのが大きな特徴です。
問10	答え 4 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。	北海道の地名の約8割がアイヌ語に由来すると言われています。先住民であるアイヌ民族は、文字を持たない代わりに地形や資源の特徴を詳細な言葉で呼び合っていました。明治時代以降の開拓の過程で、それらの呼び名に日本語の漢字が当てはめられたため、独特の読み方を持つ地名が各地に定着することとなりました。
問11	答え 2 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主体的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問12	答え 1 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。	積雪寒冷地における交通の安全を確保するための工夫を問う問題です。地面に設置する通常の反射板や白線だけでは、深い積雪や激しい吹雪（地吹雪）の際に視認できなくなります。固定式の標識を高い位置から吊るすように設置することで、雪の影響を受けずに「ここから先は路肩である」という情報を運転者に提供しています。